Jabber for Android – クイックスタートガイド

内容

概要 <u>前提条件</u> <u>ソフトウェア要件</u> <u>ハードウェア要件</u> 電話サービスの設定 <u>Jabber Softphone</u> <u>ボイスメールの設定</u> <u>Unity Connectionの設定</u> <u>CUCM の設定</u> <u>ディレクトリの設定</u> <u>ビDAPディレクトリサービス</u> <u>UDSディレクトリサービス</u> <u>CUCMエンドユーザの設定</u>

<u>サービスディスカバリ</u> <u>Cisco Jabberのダウンロードとインストール</u> <u>Jabberへのログイン</u>

概要

このドキュメントでは、基本機能を備えたCisco Jabber for Androidの正常な導入に必要な手順に ついて説明します。これはクイックスタートガイドであり、Cisco Jabber for Androidでサポート されている高度な機能については説明しません。

前提条件

Cisco Unified Communications Manager(CUCM)の管理Webページと、基本的な電話設定の経験に 関する基本的な知識があることが推奨されます。

ソフトウェア要件

このガイドでは、次のソフトウェアバージョンが使用されていることを前提としています。

- Cisco Unified Communications Manager(CUCM)バージョン10.5(2)以降
- Cisco Unified IM and Presence(IM&P)バージョン10.5(2)以上。
- Cisco Unity Connection(CUXN)バージョン10.5以降
- Jabber for Android 12.1以降。
- Androidオペレーティングシステム4.4以降

ハードウェア要件

次のハードウェア仕様は、AndroidオペレーティングシステムでCisco Jabber for Androidを実行す るための推奨最小要件です。

- CPU 1.5 GHzデュアルコア1.2 GHzクアッドコア以降
- Display
 双方向ビデオの最小表示解像度は480 x 800です。IMの最小表示解像度は320 x 480です。

注:Cisco Jabber for Androidは、IntelチップセットまたはTegra 2チップセット搭載の AndroidデバイスをベースとするAndroidデバイスではサポートされていません

電話サービスの設定

Jabber Softphone

Jabber for Androidには、Cisco Dual Mode for Androidデバイスを通じて電話サービスを提供する オプションがあります。Cisco Dual Mode for Androidデバイスは、BOTまたはソフトフォンと呼 ばれることがよくあります。

BOTデバイスを設定するには、CUCM Administration Webページにログインし、[**Device**] > [**Phone**]に移動**します。**



[電話の検索と一覧表示(Find and List Phones)]メニューから[新規追加(Add New)]を選択します。



[新しい電話の追**加]メニューで**、[Cisco Dual Mode for Android]デバイスタイプの電話タイプ**ドロ** ップダウンを検索します。選択したら、[次へ]をク**リックします**。

Net		
Italua Status: Ready	the phone type or a phone template-	
Creatie a shorten united	and house of the st of house on the state	
Phone Type *	Cisco Dual Mode for Android	

次の表(表1.0)には、CUCMでCisco Dual Mode for Android(BOT)デバイスを設定する際に設定 する必要があるすべてのフィールドが記載されています。ほとんどの必須フィールドにはデフォ ルト設定が含まれており、導入に特に必要がない限り、手動で設定する必要はありません。次の 表の「デフォルトで構成」列が「NO」に設定されている**すべてのフ**ィールドを手動で構成する必 **ヒント**:AndroidデバイスのすべてのCisco Dual Mode for AndroidデバイスにBOTのデバイス 名プレフィックスを設定することをお勧めします。たとえば、Holly Dayという名前のユー ザにBOTデバイスをプロビジョニングします。彼女のCUCMエンドユーザIDはhdayなので 、彼女のBOTデバイス名はBOTHDAYになります。

表 1.0

必須フィールド	デフォルトパラメータ
Device Name	デバイス名はBOTで始める必要があります。
Device Pool	使用可能なデバイスプールのいずれかを選択する必要
電話の押しボタンのテンプレート	標準クライアントサービスフレームワー
共通の電話プロファイル	標準共通電話プロファイル
場所	Hub_None
ビルトインブリッジ	デフォルト
Privacy	デフォルト
デバイス モビリティモード	デフォルト
所有者ユーザID	ユーザIDの設定
信頼できるリレーポイントの使用	デフォルト
常にプライマリ回線を使用	デフォルト
ボイスメッセージに常にプライム回線を使用する	デフォルト
パケットキャプチャモード	なし
BLFプレゼンスグループ	標準プレゼンスグループ

デバイスセキュリティプロファイル

SIP プロファイル 証明書の操作 DNDオプション 手動で選択する必要があります。

手動で選択する必要があります。 保留中の操作はありません コール拒否

BOT構成の必須フィールドをすべて構成したら、[保存]ボタンを選択して構成を保存します。



これでBOTを作成したので、デバイスに電話番号を追加する必要があります。これは、BOT構成の左上にある[Add a new DN]オプションを選択することで行えます。

Association			
	Modify Button Items		
1	<u>Eine [1] - Add a new DN</u>		

注:このドキュメントでは、BOTデバイスの完全な回線設定については説明しません。回線 設定は、すべての電話機に対して実行する必要がある標準設定であり、BOTデバイスに固有 の設定ではありません。

ヒント:電話番号を設定したら、BOTデバイスでCUCMエンドユーザを電話番号に関連付け ます。これは、電話番号の設定の下部までスクロールし、[エンドユーザの関連付け (Associate End Users)]を選択することで行えます。この設定は、Jabber for phone presenceを使用する場合に必要です。

ボイスメールの設定

Jabber for Androidは、Cisco Unity Connectionに保存されているボイスメールメッセージを取得 および再生できます。Jabber for Androidのボイスメールを設定するには、次の手順に従います。

Unity Connectionの設定

まず、Cisco Unity Connection Web管理Webページにログインし、[Users] > [Users]に移動します



[Search Users]ページが表示さ**れたら、**Jabber for Androidユーザメールボックスを検索して選択します。

Search Users			
User Refresh Help			
- Status			
Found 1 User(s)			
Search Limits Limit search to All \$			
Users (1 - 1 of 1)			
Find Users where Alias	ns 🗘 tuser	Find	
•	Alias *		Extension
A 10	tuser	8675309	
Delete Selected Add New Bulk Edit	Show Dependencies		

ユーザのメールボックスの[Edit User Basics]ページが表示されたら、設定されたCalls of Serviceを示します。

Class of Service

Voice Mail User COS \$

左側のナビゲーション・ペインで、[Class of Service] > [Class of Service]に移動します。

Class of Service

Class of Service

Class of Service Membership

[Search Class of Service]ページが表示さ**れば、先ほど**説明したサービスクラスを検索して選択し ます。

Search Class of Service			
Class of Service Refresh	Help		
- Status			
	<i>.</i>		
Found 1 Class of Service	e(s)		
Class of Services (1 -	1 of 1)		
Find Class of Services when	e Display Name begins	with 🗘 Voice Mail User COS	Find
		Voice Mail User COS	

[Edit Class of Service]ページで、次の項目を確認します。

- 1. [ユーザーにWeb受信トレイとRSSフィードの使**用を許可する]機能のチェックボックスがオ ンになっていることを確認**します。
- 2. また、機能名の近くのボックスを**オンにして、[Allow Users to Use Unified Client to Access** Voicemail]機能が有効になっていることを確認します。

サービスクラスの設定が確認されたら、左側のナビゲーションペインで[**System Settings] >** [Advanced] > [API Settings]に移動します。API構成ページに表示される3つの設定をすべて**有効に** しま**す**。

AP2 Configuration	
API Configuration Refresh Help	
(Java	
API Configuration	
Name	Value
Allow Access to Secure Message Recordings through CLML	0
Display Message Header Information of Secure Messages through CUMI	0
Allow Message Attachments through CLMI	0

CUCM の設定

Unity Connectionがセットアップされたら、Jabber for AndroidボイスメールのCUCM設定に進み ます。 まず、[ユーザ管理(User Management)] > [ユーザ設定(User Settings)] > [UCサービス(UC Service)]に移動します。

User Management + Bulk Administration	- Help -
Application User End User User/Phone Add SIP Realm	
User Settings Setf-Provisioning Assign Presence Users	Credential Policy Default Credential Policy Role Access Control Group Application User CAPF Profile End User CAPF Profile
	UC Service Service Profile User Profile User Group User Rank

[UCサービスの検**索と一覧表示(Find and List UC Services)]ページで、[**新規追**加(Add New)]を選択** します。



[UC Service Configuration]ページが表示さ**れたら、[UC Service Type]**ドロップダウン**から** [Voicemail]を選択し、[Next]を選択します。

UC Service Configuration
Next
Status Status: Ready
Add a UC Service UC Service Type Voicemail \$

UCサービス構成ページが表示されます。最初に、[Product Type]ドロップダウン**から[Unity Connection]**を選択します。また、ボイスメールUCサービスの名前を設定し、RESTおよび Jettyservicesを実行しているUnity ConnectionサーバのIP、ホスト名、または完全修飾ドメイン名 (FQDN)を指定する必要があります。

UC Service Configuration				
Save				
Status Status: Ready	n			
UC Service Type:	Voicemail			
Product Type*	Unity Connection	\$		
Name*	CUXN-Sub-01			
Description	Unity Connection Subscriber 1			
Host Name/IP Address*	CUXN-SUB-01.testlab.com			
Port	443			
Protocol	HTTPS	\$		

注:UCサービスプロファイルには、最大3つのボイスメールUCサービスを割り当てること ができます。

ボイスメールUCサービスが定義されたら、サービスプロファイルに割り当てます。まず、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]**に移動します**。

User Management 👻 Bulk Administ	ration	✓ Help ✓
Application User End User User/Phone Add SIP Realm	,	
User Settings Self-Provisioning Assign Presence Users	•	Credential Policy Default Credential Policy Role Access Control Group Application User CAPF Profile End User CAPF Profile UC Service
		Service Profile User Profile User Group User Rank

[サービスプロファイ**ルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニュ**ーから、Jabber for Androidユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(**Add New)]を選択して新しいサービスプロファイルを作成します**。

Find and List Service Pr	ofiles			
Add New 🔛 Select	All 🔛 Clear All 💥 Delete Selected			
Status (1) 4 records found				
Service Profiles (1	- 4 of 4)			
Find Service Profiles where	Name	Clear Filter 💠 👄		
•	Name *		Description	
	Full_UC_SP		5	system Default Service Profile
	Full_UC_SP_No-CTI			
0	Full UC UDS SP			
0	Voice Only SP			

[Service Profile Configuration] ページで、[Voicemail **Profile]セクションまで下にスクロールし**て、[Voicemail UC Service(s)]をサービスプロファイルに割り当て、[**Save]を選択します**。

Voicemail	Profile	
Primary	CUXN-Sub-01 \$	
Secondary	CUXN-Sub-02 \$	
Tertiary	<none> \$</none>	
Credentials	source for voicemail service* Unified CM - IM and Presence	\$

注:上記のJabber for Androidのセットアップでは、Unity ConnectionでLDAP認証が使用されていると想定しています。メールボックスがLDAPに統合されていない場合は、『Cisco On-Premises Deployment Guide』を参照してください。

ディレクトリの設定

Jabber for Androidは、企業の連絡先を解決するためのディレクトリサービスに依存します。 Jabberは、Lightweight Directory Access Protocol(LDAP)またはCUCM User Data Services(UDS)を使用してディレクトリ解決を実行できます。 Jabber for AndroidのLDAPまたは UDSディレクトリサービスの設定に関しては、次のセクションを参照してください。

LDAPディレクトリサービス

Jabber for Androidは、次に示す3つの既知のLDAPディレクトリサービスをサポートしています。

- Active Directoryドメインサービス
- OpenLDAP
- Active Directoryライトウェイトディレクトリサービス(AD LDS)

このガイドでは、Jabber for Android 12.1以降をActive Directoryドメインサービスと統合するよう に設定する手順について説明します。これは一般的な統合です。

まず、CUCM Administration Webページにログインし、[User Management] > [User Settings] > [**UC Service]に移動します**。

User Management - Bulk Administration	+ Help +
Application User End User User/Phone Add SIP Realm	
User Settings Setf-Provisioning Assign Presence Users	Credential Policy Default Credential Policy Role Access Control Group Application User CAPF Profile End User CAPF Profile
	UC Service Service Profile User Profile User Group User Rank

[UCサービスの検**索と一覧表示(Find and List UC Services)]ページで、[**新規追**加(Add New)]を選択** します。



[UC Service Configuration]ページが表示さ**れたら、[UC Service Type]**ドロップダウン**から** [Directory]を選択し、[Next]を選択します。

UC Service Configuration	
Next	
Status: Ready	
Add a UC Service UC Service Type Directory	ŧ

UCサービス構成ページが表示されます。[製品タイプ]ドロップダウンから[拡張ディレクトリ]を選 択します。また、ディレクトリUCServiceの名前を設定し、ディレクトリサーバのIP、ホスト名 、または完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定する必要があるのです。

既定では、[接続の**種類]**は[グローバルカタログ]に設定されま**す。この**場合、Microsoftドメインコントローラがディレクトリソースとして使用されていると仮定します。グローバルカタログサーバが使用中の場合は、構成内のポート番号を3268に設定する必要**があります**。シスコでは、クエリをより効率的に解決するため、グローバルカタログサーバをディレクトリリソースとして使用することを推奨しています。

ヒント: Microsoft Active Directoryドメインサービスのドメインコントローラを使用してい ない場合は、ディレクトリUCサービスの[**Port]**を[**389** to **Connection Type]**を[**Ldap**]に設定す る必要があります。

-UC Service Informatio	n	
UC Service Type:	Directory	
Product Type*	Enhanced Directory	\$
Name*	MS_AD_01	
Description	Microsoft Domain Controller	
Host Name/IP Address*	MS-AD-01.testlab.com	
Port	3268	
Protocol	TCP	\$
Connection Type*	Global Catalog 🔹	
Use Secure Connection	<u>on</u>	
Use Wildcards		
Disable Secondary N	umber Lookups	
Uri Prefix		
Phone Number Masks		

注:UCサービスプロファイルに割り当てられるディレクトリUCサービスは、最大3つまで 設定できます。

ディレクトリUCサービスが定義されたら、それらをサービスプロファイルに割り当てます。まず 、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]**に移動します**。

User Management 👻 Bulk Administration	n ▾ Help ▾
Application User End User User/Phone Add SIP Realm	
User Settings Self-Provisioning	Credential Policy Default Credential Policy
Assign Presence Users	Role Access Control Group
	Application User CAPF Profile End User CAPF Profile
	UC Service Service Profile
	User Profile
	User Group User Rank

[サービスプロファイ**ルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニュ**ーから、Jabber for Androidユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(**Add New)]を選択して新しいサービスプロファイルを作成します**。

Find and List Service	Profiles			
Add New 🔠 Sele	ect All 🔛 Clear All 💥 Delete Selected			
Status 4 records found				
Service Profiles ((1 - 4 of 4)			
Find Service Profiles wh	ere Name 0 begins with 0	Find Clear Filter 🕀 📟		
	Nam	w *	Description	
	Full_UC_SP			System Default Service Profile
0	Full_UC_SP_No-CTI			
0	Full UC UDS SP			
	Voice Only SP			

[サービスプロファイルの設定(Service Profile Configuration)]ページで、[ディレクトリプロファイ ル(Directory Profile)]セクションまで下にスクロールし、ディレクトリUCサービスをサービスプロ ファイルに割り当てます。また、Active Directoryの検索ベースを定義する必要があります。これ は、企業ユーザが存在する組織単位またはディレクトリである必要があります。

[ディレクトリプロファイル]セクションを構成する際には、ディレクトリ認証方法も構成する必要 があります。匿名クエリを防ぎ、Jabberログイン時に入力した資格情報でJabberを認証するよう に設定します。はディレクトリサーバへの匿名アクセスを試みます。匿名ディレクトリへのアク セスは、シスコでは推奨しません。

ディレクトリ・プロファイルの構成が完了したら、「保存」を選択します。

注: CUCM 10.X - 11.5.Xを使用している場合、サービスプロファイルの[Directory Profile]セ クションには、LDAPサーバでクエリを実行する権限のあるユーザIDとして識別名を使用で きるユーザ名およびパスワードフィールドも含まれます。CUCM 12.Xで、ディレクトリサ ービスの認証に単一のユーザIDを使用する場合は、jabber-config.xmlの ConnectionUsernameおよびConnectionPasswordパラメータを使用する必要があります。

- Directory Profile	
Primary MS_AD_01 \$	
Secondary MS_AD_02 \$	
Tertiary <none> 1</none>	
Use UDS for Contact Resolution	
Use Logged On User Credential	
Search Base 1	OU=Users,DC=testlab,DC=com
Search Base 2	
Search Base 3	
Recursive Search on All Search Bases	
Search Timeout (seconds)*	5
Base Filter (Only used for Advance Directory)	
Predictive Search Filter (Only used for Advance Directory)	
Allow Jabber to Search and Add Security Groups	

注意:Cisco Jabberはさまざまな属性を使用して連絡先ソースに照会します。これらの属性 のすべてがデフォルトでインデックス付けされているわけではありません。Cisco Jabberで 使用される属性を効率的に検索するには、ディレクトリサーバでインデックスを作成する必 要があります。詳細については、『Jabber計画ガイド』の「LDAPの前提条件」セクション を参照してください。

UDSディレクトリサービス

CUCM User Data Services(UDS)は、Cisco Expresswayモバイルおよびリモートアクセスを介し て連絡先を解決するためにJabberで使用できる連絡先ソースAPIを提供します。UDS連絡先ソー スは、Unified CMエンドユーザテーブル情報ををを使用使用して解決します。

まず、CUCM Administration Webページにログインし、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]に移動**します**。



[サービスプロファイ**ルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニュ**ーから、Jabber for Androidユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(Add New)]を選択して新しいサービスプロフ**ァイルを作成します。**

Find and List Service Pr	offiles			
Status				
(i) 4 records found				
Service Profiles (1	- 4 of 4)			
Find Service Profiles when	Name 2 begins with 2	Find Clear Filter		
The server romes men	(mana) (segme mer)			
		Name *	Description	
	Full_UC_SP			System Default Service Profile
0	Full UC SP No-CTI			
0	Full UC UDS SP			
0	Voice Only SP			

[サービスプロファイルの設定]ページで、 ディレクトリ [プロファイル]セクションで、[連絡先の 解決にUDSを使用]チェックボックスをオンにし、[保存]を選択します。

Directory Profile	
Delmony (Allenes A	
Primary <none> +</none>	
Secondary <pre></pre> <pre>\$</pre>	
Tertiary <pre><none> \$</none></pre>	
Use UDS for Contact Resolution	
Use Logged On User Credential	
Search Base 1	
Search Base 2	
Search Base 3	
Recursive Search on All Search Bases	
Search Timeout (seconds)*	5
Base Filter (Only used for Advance Directory)	
Predictive Search Filter (Only used for Advance Directory)	
Allow Jabber to Search and Add Security Groups	

サービスプロファイルでUDSが有効になると、Jabber for AndroidはJabberのログインプロセス中 にCUCM UDSサーバを自動的に検出します。

CUCMエンドユーザの設定

CUCMエンドユーザの設定は、Jabber for Androidの導入において重要なステップです。多くの Jabber機能はこの設定に依存しています。次の図は、CUCMエンドユーザの設定に依存するすべ てのJabber設定を示しています。



Jabber for Android CUCMのエンドユーザを設定するには、まずCUCM Administration Webページ にログインし、[ユーザ管理(**User Management)] > [エンドユーザ(End User)]に移動します**。

Us	er Management 👻	Bulk Administration
	Application User	
	End User	
	User/Phone Add	,
	SIP Realm	[
	User Settings	•
	Self-Provisioning	
1	Assign Presence I	Jsers

[ユーザの**検索と一覧表示(Find and List Users**)]メニューで、Jabber for Androidに設定する CUCMエンドユーザを検索して選択します。

ind and Liet Users					
👍 Add New 🏢 Select Al 🔛 Clear Al 💥 Dates	te Selected				
Status					
1 records found					
User (1 - 1 of 1)					
Find User where Finit name 0 begins	s with 1)test [Find] Clear	Filter 🕂 💻			
User ID * No	leating Number First Name	Last Name Day	artment Directory URI	User Status	
 twser 	test	user nowhere	tuser@testiab.com	Active Enabled LDAP Synchronized User	
Add New Select All Clear All Delete Selected					

[エンドユー**ザーの設定**Web]ページで[サービスの設定]セクションまで下にスクロールして、使用 するサービスをエンドユーザに割り当てることができます。ユーザがJabber for Androidにログイ ンできるようにするには、サービス名の横にあるチェックボックスをオンにしてホームクラスタ サービスを有効にする必要があります。

Jabber for Androidをインスタントメッセージングに使用するエンドユーザは、[Unified IM and Presenceのユーザを有効にする(Enable User for Unified IM and Presence)]というフィールドの横にあるチェックボックスをオンにして、サービスを有効にする必要があります。

次に、[**UC Service Profile**]ドロップダウンからサービスプロファイルを選択して、サービスプロ フ**ァイルを割り**当てます。サービスプロファイルは、JabberクライアントにCUCM UCサービス 設定を提供するために使用されます。.

注:サービスプロファイルをCUCMエンドユーザに割り当てない場合、ユーザはシステムの デフォルトサービスプロファイルとして設定されたサービスプロファイルを自動的に使用し ます。

1	- Convice Cottings	
1	Service Settings	
	Home Cluster	
	🗹 Enable User for Unifie	d CM IM and Presence (Configure IM and Presence in the associated UC Service Profile)
	Include meeting	information in presence(Requires Exchange Presence Gateway to be configured on CUCM IM and Presence server)
	Presence Viewer for	<u>' User</u>
	UC Service Profile	Use System Default("Full_UC_SP")

次に、[Device Information]セクションまで下**にスクロール**します。ここでは、CUCMエンドユー ザが制御するデバイスを管理できます。ユーザにソフトフォン(BOT)を割り当てます。CUCMは 、Jabberログイン中にJabber for Androidにこのデバイスのリストを提供します。

betwee intormation		
Controlled Devices	BOTTUSER	
		Device Association
		Line Appearance Association for Presence

[デバイスの関連付け]ボタンを選択すると、デバイスをユーザに割り**当てることが**できます。次に、 (ユーザデバイスの関連付け(User Device Association)]メニューが表示されます。ここから、 CUCMエンドユーザデバイスを検索できます。デバイスが見つかったら、そのデバイスの横にあ るチェックボックスにチェックマークを付け、[選択した変更を保**存]を選択します**。

User Device Association					
Select All 🔛 Clear All 🔛 Select All In Search 🔛 Clear All In Search 🔛 Save Selected/Changes					
User Device Association For tuser (1 - 1 of 1)					
Find User Device Association where Name + contains + bottuser Find Clear Filter + =					
•	Device Name	Directory Number			
	BOTTUSER	8675309			
Select All Clear All Select All In Search Clear All In	Search Save Selected/Changes				

次に、[Directory Number Association]セクションまで下にスクロールし、[Primary Extension]ドロ ップダウンから[CUCM end users primary extension]**を選択**します。

Directory Number	r Associations		
Primary Extension	8675309 in RTP_Internal_PT		

次に、[権限情報]セクショ**ンまでスクロール**します。ここでは、Jabber for Androidに必要な権限 を割り当てます。

次の表(表1.1)に、必要なすべてのロール、その権限、およびJabberにロールの割り当てが必要 な理由を示します。

表 1.1

ロール	特権/リソース	Jabber□-
標準CCMエンドユーザ	Cisco Unified CMユーザオプションにエンドユーザのログイン権限 を付与します。	Jabber SOA
標準CCMUSER管理	Cisco Unified CMユーザオプションへのアクセスを許可します。	Jabber SOA [Authentica

CUCMエンドユーザに権限グループを割り当てるには、[アクセスコントロールグループに追加 (Add to Access Control Group)]ボタンを選択します。

Groups	Standard CCM End Users		
			Add to Access Control Group
			Remove from Access Control Group
		View Details	
Roles	Standard CCM End Users Standard CCMUSER Administration		
		View Details	

次に、追加するアクセスコントロールグループを検索し、アクセスコントロールグループ名の近 くにあるチェックボックスをオンにします。完了したら、[Add Selected]ボタ**ンを選択**します。

First and	List Access Control Broups			
()) (and	cal Courte 🛶 All Second 💽 Doe			
	ands frame			
Access	Cantosi Broup (1 - #-sF.8)	Rows per Rops 10-1		
Red Asse	a Calcul Drag alone (1979 E) (197375 E) Transfer over	the barther do in		
	Apres *	Rent.		
	Brandard CD4 Administration			
•	Randoni GDN Braktown			
	Standard CD4 Ealowar Administration			
	Randard CD4 Pione Administration			
	Rambed CD4 Read-Only			
	Standard CD4 Server Heintamonia			
	Randed CDP Server Nexturing	1		
	Rambed CDR Ruper Users			

サービスディスカバリ

Cisco Jabberクライアントがログインできるようにするには、まず、認証と設定の取得に使用するサービス(CUCM、IM&P、またはExpressway)を認識する必要があります。Domain Name System (DNS;ドメインネームシステム)サービスロケーション(SRV)レコードを使用して自動 サービス検出を設定することを推奨します。これは、シームレスなユーザエクスペリエンスと管 理の容易さを提供するためです。

次の図は、Jabberの自動サービス検出プロセスを図示したものです。



DNS SRVレコードをMicrosoft DNS Managerに追加するには、ドメインに移動してツリーを展開します。_tcpフォルダを右クリ**ックし、**[その他の新しいレコード…]を選択します。



[リソースレコー**ドの種類]ウ**ィンドウが表示されたら、[サ**ービスの場所(SRV)]をハイライ**トし、 [レコー**ドの作成…]を選択します。**

Resource Record Type)
Select a resource record type:	
Route Through (RT)	~
Service Location (SRV)	
Signature (SIG)	
Text (TXT)	
Well Known Services (WKS)	
X.25	~

次に、[新しいリソースレコード]ペインが表示されます。ここでは、Jabbersの初期UDSホームク ラスタルックアップに使用する各CUCMサーバのSRVレコードを設定します。

_cisco-udsSRVレコードの設定例を次に示します。この例では、_cisco-udsレコードはCUCMクラ スタ内の3つのCUCMノードに解決されます。

_cisco-udstcp.testlab.com			SRV	service	location:	
	priority	=	б			
	weight	=	30			
	port		8443			
	svr hostname	=	cucm	3.tes	stlab.com	n
_cisco-udstcp.testlab.com			SRV	service	location:	
	priority	=	2			
	weight	=	20			
	port		8443			
	svr hostname	=	cucm2	2.tes	stlab.com	n
_cisco-udstcp.testlab.com SRV service location:						
	priority	=	1			
	weight	=	5			
	port	=	8443			
	svr hostname	=	cucm	l.tes	stlab.com	n

Cisco Jabberのダウンロードとインストール

まず、AndroidデバイスでAndroid Playストアを開きます。



Play Storeアプリ**ケーションで**、Play Store検索バ**ーを**使用してJabberを検索します。Cisco Jabberアプリケーションが見つかっ**たら、ア**プリケーションを選択し、インストールするオプシ ョンを**選択します**。



Jabberへのログイン

Jabber for Androidの初回ログインを実行するには、AndroidデバイスでCisco Jabberアプリケーションを見つけて起動します。



Jabber for Androidアプリケーションが起動すると、エンドユーザライセンス契約**が表示されます** 。通知とサービス規約を読んでください。続行する場合は、[**Accept**]を選択**します**。



Jabberは、Androidフォンのネイティブの通話、連絡先、およびストレージ機能と統合する権限を 要求します。これを受け入れ、Jabberログインを続行する場合は、[開始]を**選択します**。



次に、Jabberアプリケーションにサービス検出ログイン画面が表示されます。ここでは、サービ ス検出に使用するJabberユーザ名とドメイン(例)を指定します。tuser@testlab.com にありま す)。 ログインを続行するには、[続行]ボタン**を選択**します。



サービスの検出が終了すると、Jabberログのクレデンシャルを入力するように求められます。有 効なJabberユーザ名とパスワードを入力し、[サインイ**ン]を選択します**。

